

児童家庭支援センターはこのように動きます

《児童家庭支援センターの相談・支援の実際》

レッドゾーン 保護が必要な危機的状況(要保護)

イエローゾーン 支援が必要な不安定状況(要支援)

ブルーゾーン 安定した状況

I : イエローゾーン(要支援)からレッドゾーン(要保護)への転化を防ぐ

II : レッドゾーン、イエローゾーンからの回復をサポートする

III : 保護、措置された子どもの地域生活をサポートする(里親支援、自立支援を含む)

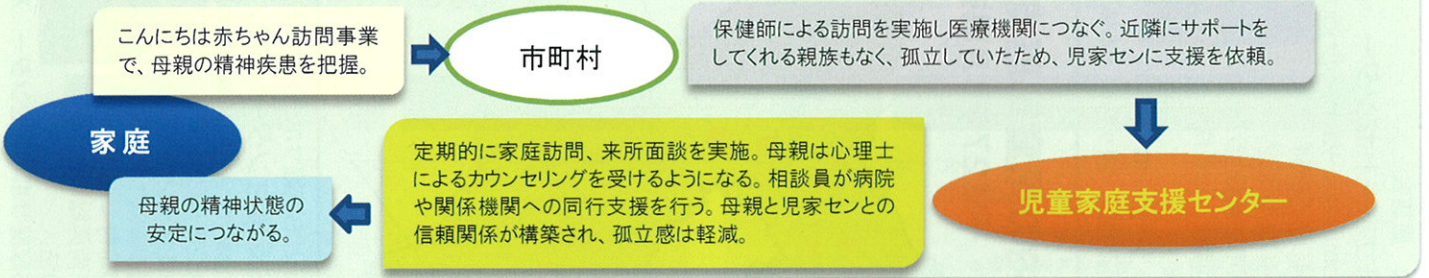
これが、児童家庭支援センターの主要なミッションです

I : 要支援児童・家庭への在宅支援 ~ 要保護への転化を防ぐための支援

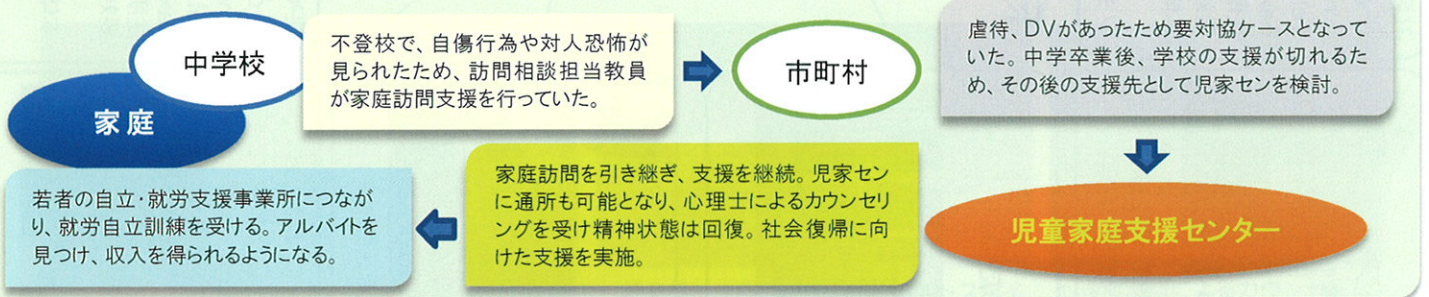
(事例1) 児童相談所に近隣住民から“泣き声通告”があった家庭への支援



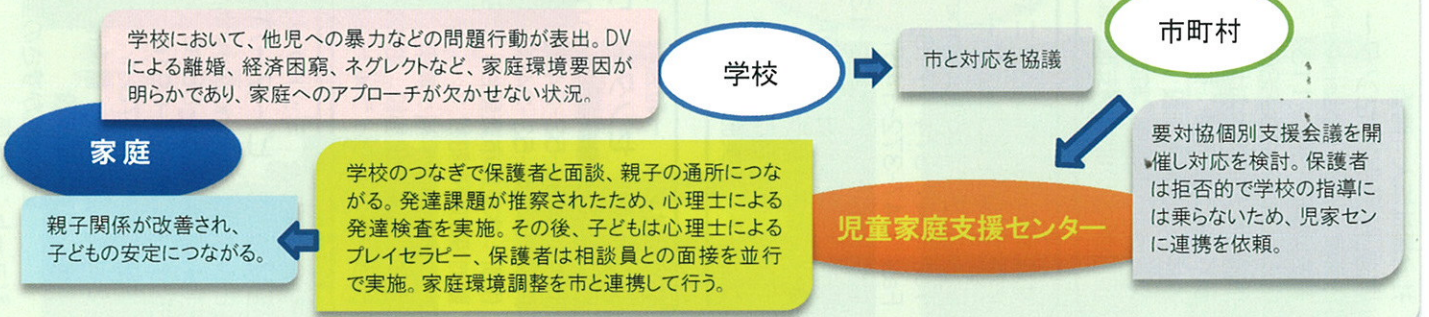
(事例2) 精神疾患を持つ母親への支援



(事例3) 不登校になっている生徒の中学卒業後の支援



(事例4) 子どもの問題行動の背景に、家庭環境の要因が考えられる家庭への支援



※児童家庭支援センターを「児家セン」、要保護児童対策地域協議会を「要対協」と略して表記しています